

特集

Special feature

第3回

生活者アンケート

一般消費者を対象とした「生活者アンケート(2013年9月実施)」を基に、「身近な出来事」に対する意識についてレポートします。



意識調査

『教育資金の一括贈与に係る
贈与税の非課税措置、NISA』
『黒田官兵衛』

はじめに

平成25年4月1日から「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」が開始され、平成26年1月1日からは「NISA（少額投資非課税制度）」が開始される予定です。

また、平成26年の大河ドラマが、黒田官兵衛を主人公とした「軍師官兵衛」に決まりました。

FFGビジネスコンサルティングでは、第3回目となる「FFG生活者アンケート」を実施し、教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置や、NISAに対する意識やその影響、そして黒田官兵衛について、福岡県・長崎県・熊本県在住の方を中心にアンケート調査を行いましたので、その結果の概要をご紹介します。

【調査概要】

調査対象：一般消費者の方464人
（男性221人、女性243人）
調査時期：平成25年9月
調査方法：福岡銀行、熊本銀行、親和銀行のホームページ上のインターネット調査

1

教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置、NISAに関する意識調査

【調査結果の概要】

1. 現在保有している金融商品、今後購入したい商品について、ともに「定期預金」が最も多く、次いで「投資信託」、「株式」という結果となった。
2. 金融商品購入の際に重視する項目について、元本の安全性を重視する姿勢がうかがえる一方で、「値上がり利益を期待」する人も33・8％という結果となった。
3. 教育資金の一括贈与に係る非課税措置について、特に子育て世代（30代から50代）での関心が高い。
4. 教育資金口座の活用について、「利用する」と「検討中」合わせても9・2％にとどまり、利用する場合の1人あたりの贈与額は「100万円以上300万円未満」が37・2％と最も多かった。
5. NISAについて、半数以上の人がある程度の内容を知っており、特に勤労世代（30代から50代）での関心が高い。

6. NISAの活用について、「既に申し込み済み」「必ず利用する」が24・1％。「説明を聞いてメリットがありそうであれば利用する」も26・9％あり、NISA利用者の拡大が見込まれる。

7. NISA口座を開設する金融機関について、「地方銀行」が27・8％、「証券会社」が27・4％という結果となった。

8. NISA口座を開設する金融機関の決定要因について、「手数料等のコストが低い」が46・0％と最も多く、次いで45・6％の「インターネット取引ができる」という結果となった。



現在保有する商品、今後購入したい商品

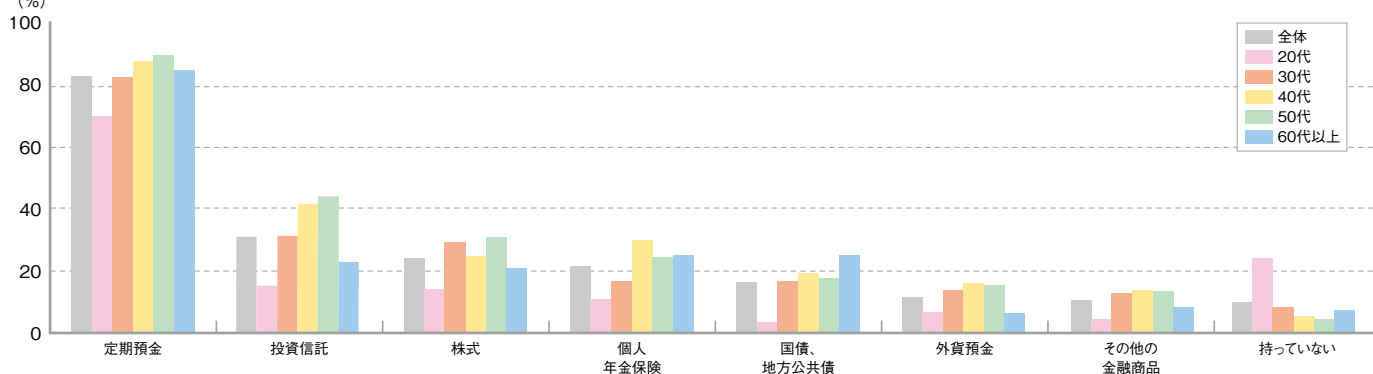
- 問1
- (1) 現在どのような金融商品を保有していますか
(複数回答)
- (2) 今後どのような金融商品を購入したいですか
(複数回答)

(1) 現在保有している金融商品
を尋ねたところ、「定期預

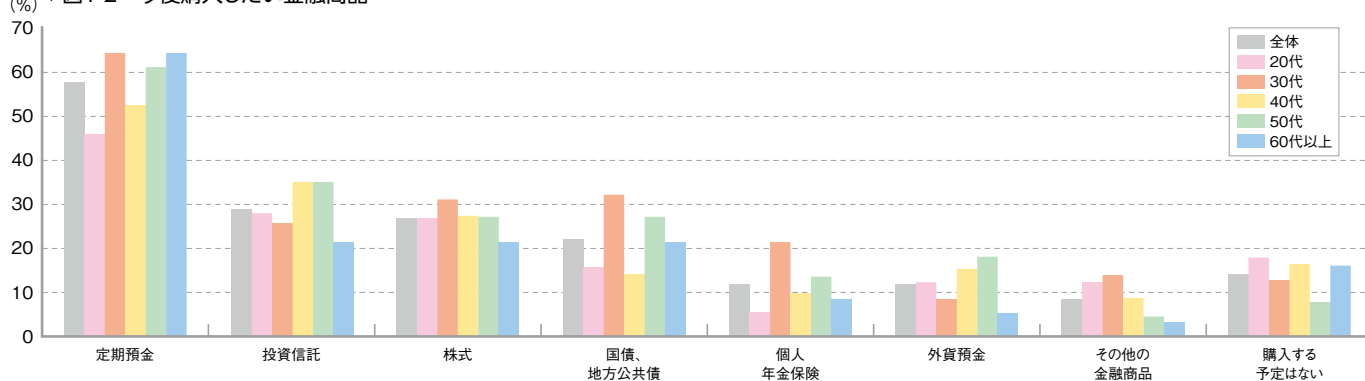
金」が83・4％と最も高く、次いで「投資信託」、「株式」がそれぞれ31・3％、24・1％となっています。安定的な運用を行う一方で、リスクをとって収益を期待する人も相応にすることが分かります（図1-1）。

(2) 今後購入したい金融商品を探ねたところ、「定期預金」が56・7％と最も高く、次いで「投資信託」、「株式」がそれぞれ28・4％、26・3％となりました。また、20代は他の年代と比較して、投資信託や株式等の現在の保有割合は低いものの、今後の購入対象としては、投資信託や株式等の割合は他の年代と同程度まで高まっており、リスク性商品に対する相応の関心の高さがうかがえます（図1-2）。

▼図1-1 現在保有する金融商品



▼図1-2 今後購入したい金融商品



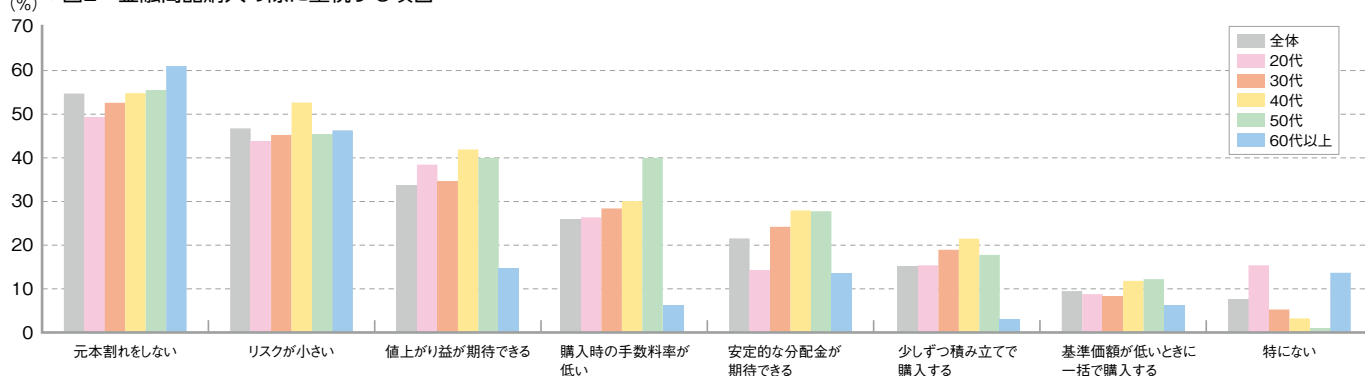
金融商品購入の際に重視する項目を尋ねたところ、「元本割れをしない」(54・7%)が最も多く、次いで「リスクが小さい」(46・8%)となっており、金融商品購入の際には、元本の安全性を重視する姿勢が見られます。年代別に見ると、高い年代の方が安全性を重視する傾向にあります。一方で、「値上がり益が期待できる」も33・8%あり、預金金利が低水準で推移する中、リスク性商品により収益を期待する心理の表れと考えられます。また、「購入時の手数料率が低い」が全体で26・1%、特に50代では40・0%あり、手数料率も金融商品購入時の重要な判断基準となっています(図2)。

問2

金融商品購入の際、何を重視しますか(複数回答)

金融商品購入の際に重視する項目

▼図2 金融商品購入の際に重視する項目



教育資金の一括贈与に係る
非課税措置の認知度

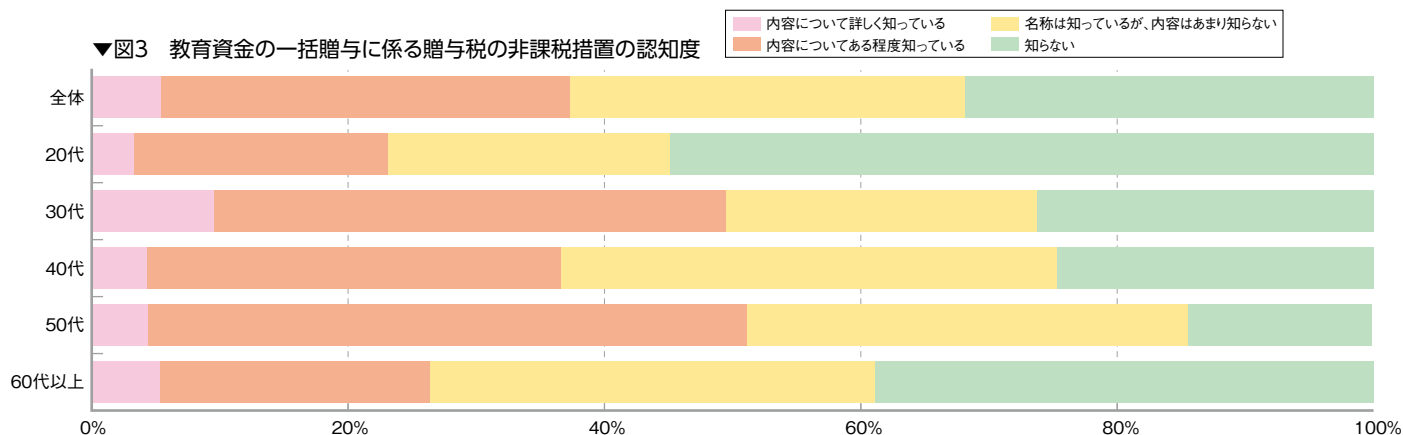
問3

「教育資金の一括贈与に係る
贈与税の非課税措置」を
ご存知ですか

「教育資金の一括贈与に係る
贈与税の非課税措置」(※1)に
ついて尋ねたところ、「詳しく
知っている」「ある程度知ってい
る」は、50代が51・1%と最も高
く、次いで30代(49・5%)、40代
(36・6%)が続いており、特に子
育て世代の関心が高いことが分
かります(図3)。

※1 教育資金の一括贈与に係る贈
与税の非課税措置…曾祖父母、祖
父母、父母から、ひ孫、孫、子等(受
贈者)へ教育資金を贈与した場合、
受贈者一人当たり1,500万円
を上限として贈与税が非課税とな
る制度(贈与期間…平成25年4月
1日から平成27年12月31日)。金
融機関で専用の教育資金口座を開
設し、口座からの払い出し及び教
育資金の支払いを行った際、金融機
関への領収書等の提出が必要。詳
細は国税庁ホームページをご参照
下さい。

▼図3 教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置の認知度

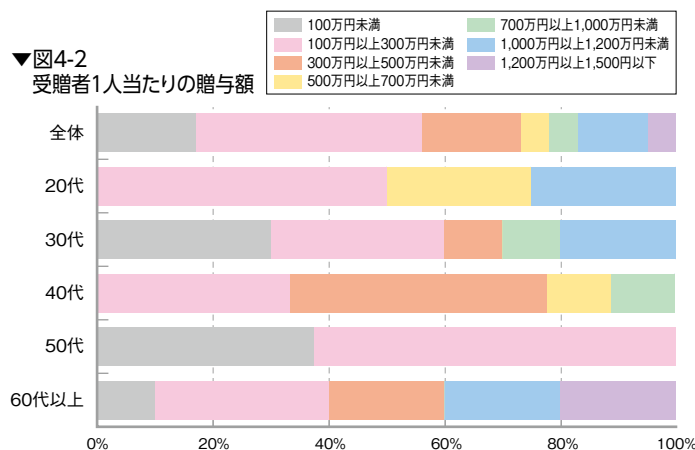
教育資金口座の利用意向、
受贈者1人あたりの贈与金額

問4

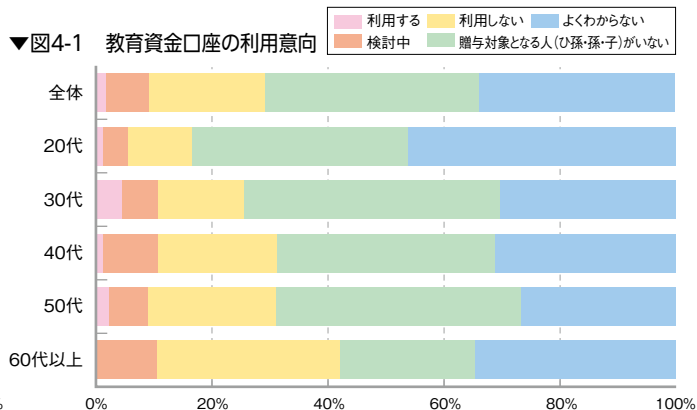
「教育資金の一括贈与に係る
非課税措置」に対応した
「教育資金口座」を
利用しようと考えていますか
また、利用する場合、
受贈者1人あたりいくらの
贈与を検討しますか

「教育資金の一括贈与に係る
非課税措置」の利用に必要な、
金融機関での「教育資金口座」
開設について尋ねたところ、「利
用する」「検討中」合わせても
9・2%にとどまりました。「よ
くわからない」が全体の3分の1
を占めており、制度自体が浸透
していないことがうかがえます。
(図4-1)

また、「利用する」「検討中」
と回答した人に、制度を利用す
る場合受贈者1人あたりいくら
の贈与を検討するか尋ねたところ、
「100万円以上300万円
円未満」が37・2%と最も多くな
りました。(図4-2)。

▼図4-2
受贈者1人当たりの贈与額

▼図4-1 教育資金口座の利用意向



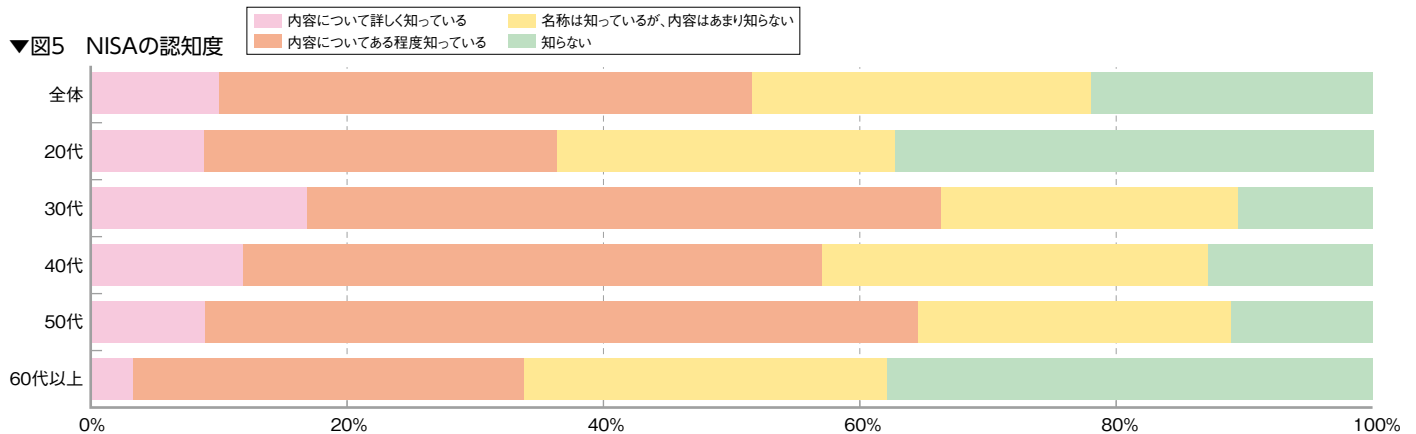
NISAの認知度

問5

「NISA」をご存知ですか

NISA（少額投資非課税制度 ※2）について尋ねたところ、半数以上の人が「内容について詳しく知っている」「内容についてある程度知っている」と回答しており、相応に認知されていることが分かります。30代、40代、50代の認知度は6割前後と、特に勤労世代において資産運用への関心が高くなっています（図5）。

※2 NISA…毎年100万円までの非課税枠が設定され、投資金額100万円分までの上場株式や投資信託等の譲渡益や配当が非課税になる制度（現在は10・147%の軽減税率が適用されているが、平成26年より20・315%の通常の税率に戻る予定。100万円を超える部分はNISA口座を利用できないため、20・315%が適用される）。NISA口座は1つの金融機関でのみ開設可能。詳細は国税庁ホームページをご参照下さい。

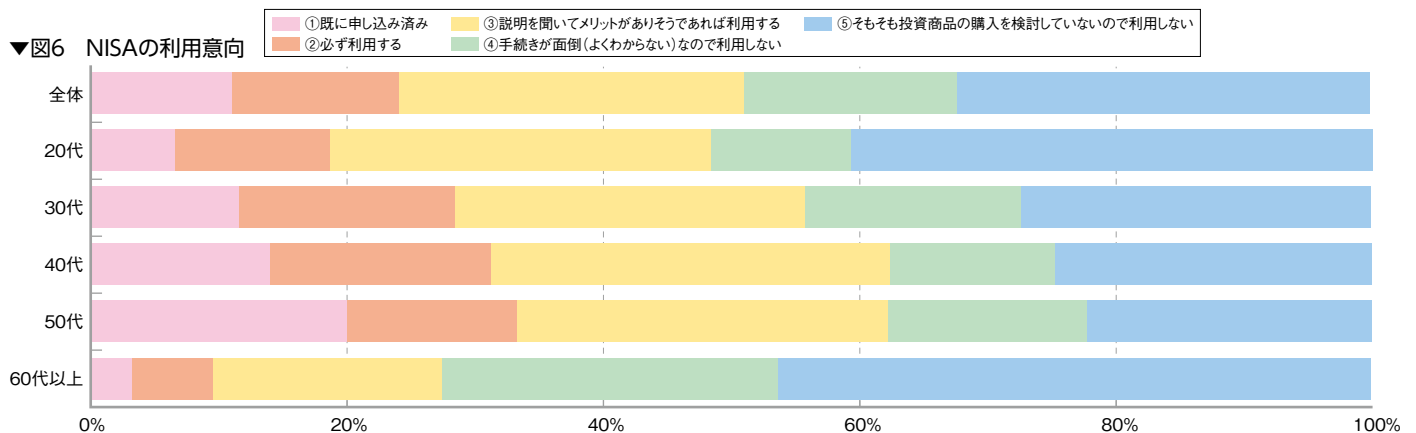


NISAの利用意向

問6

「NISA」を利用したいと考えますか

NISAを利用するか尋ねたところ、「既に申し込み済み」と「必ず利用する」を合わせて24・1%となりました。特に50代においては、20・0%の人が「既に申し込み済み」と回答しており、期待感の大きさがうかがえます。「説明を聞いてメリットがありそうであれば利用する」も26・9%あり、NISA利用者の拡大が見込まれます。また、「手続きが面倒（よくわからない）なので利用しない」（16・6%）と回答した人も、手続きや制度の内容について、詳しい説明により理解することで、NISAを申し込む可能性があると考えることが出来ます（図6）。

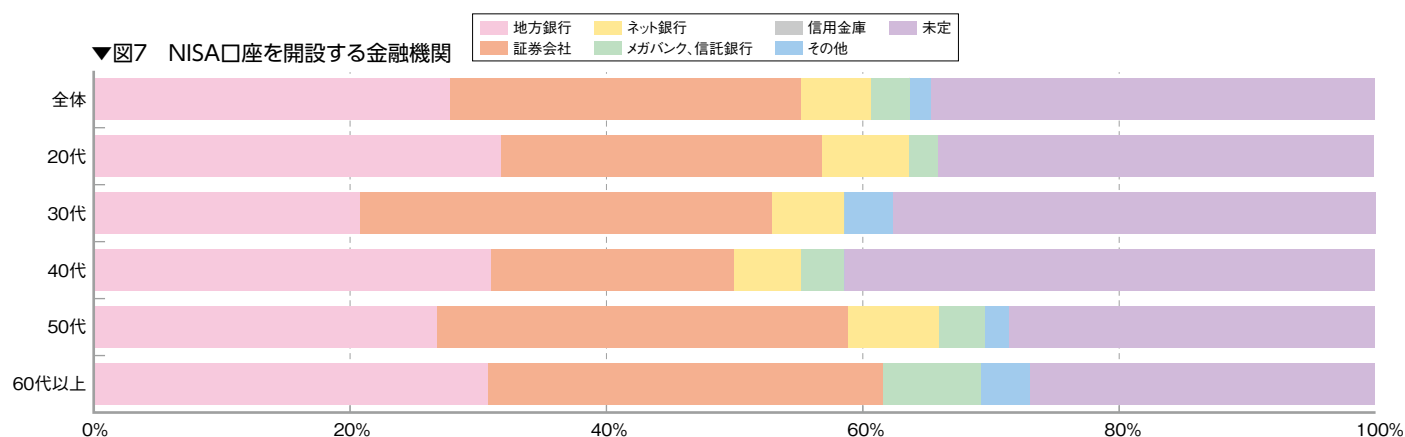


NISA口座を開設する
金融機関

問7

NISA口座はどの
金融機関で開設しますか
(問6で①②③と回答した方対象)

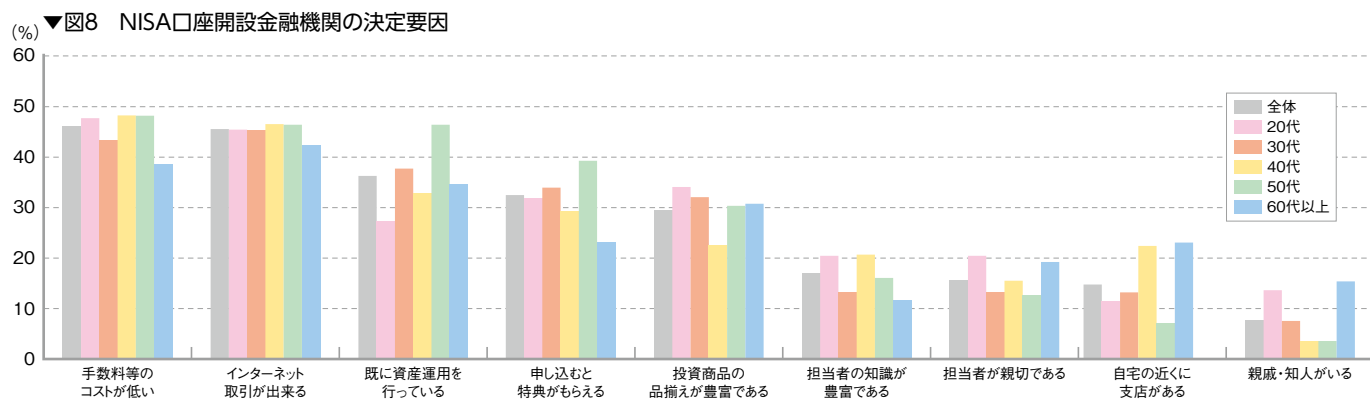
問6で①②③と回答した人を対象に、どの金融機関でNISA口座を開設するかを尋ねたところ、「地方銀行」が27・8%、次いで「証券会社」が27・4%となりました。NISA口座の開設は1つの金融機関に限られる中で「未定」が34・6%あり、金融機関同士のNISA口座獲得競争が予想されます(図7)。

NISA口座を開設する
金融機関の決定要因

問8

NISA口座を開設する
金融機関を決定する要因は
何ですか
(問6で①②③と回答した
方対象)(複数回答)

問6で①②③と回答した人を対象に、NISA口座を開設する金融機関の決定要因を尋ねたところ、「手数料等のコストが低い」(46・0%)がもっとも多く、コスト意識が高いことが分かります。「インターネット取引ができる」も45・6%と多く、手軽さや利便性も重視する姿勢が見られます。次いで「既に資産運用を行っている金融機関」(36・3%)となっており、6割強の人は現在資産運用を行っている金融機関での開設にはこだわっていないことが分かります。続いて「申し込むと特典がもらえる」(32・5%)、「投資商品の品揃えが豊富である」(29・5%)の順で高くなっています(図8)。



2 黒田官兵衛に関する意識調査

【調査結果の概要】

1. 平成 26 年の NHK 大河ドラマで「軍師官兵衛」が放映されることを知っている人は 50・9%、また、黒田官兵衛自体を知っている人は 57・4% となった。
2. 「軍師官兵衛」の積極的な視聴意向は「福岡が舞台となるため」が最も多かった。
3. 観光したい黒田官兵衛ゆかりの地は、19・6% の「中津城」、15・7% の「馬ヶ岳城跡」と、黒田官兵衛が九州に移ってきた当初の居城の人気の高いという結果となった。
4. 好きな歴史上の人物は、「坂本龍馬」が 19・8% (92 人) と最も多く、2 位以下に大きく差をつけている。その他の上位では、戦国時代や江戸幕末から明治維新に活躍した人物の人気の高いという結果となった。

NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」、黒田官兵衛の認知度

問9

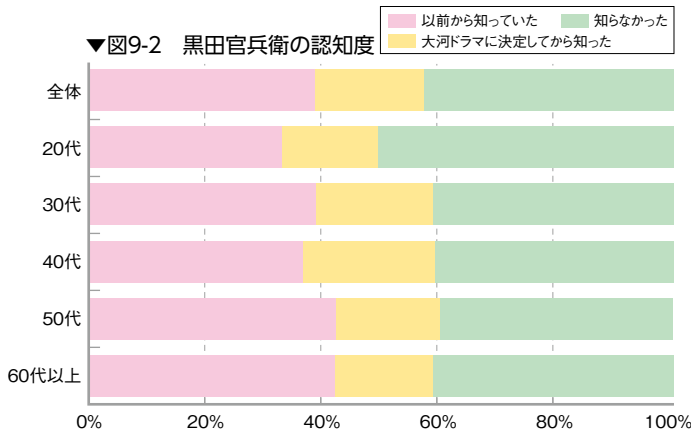
平成 26 年 NHK 大河ドラマで「軍師官兵衛」が放映されることをご存知ですか
また、黒田官兵衛をご存知ですか

／ 楽しみ！ ／

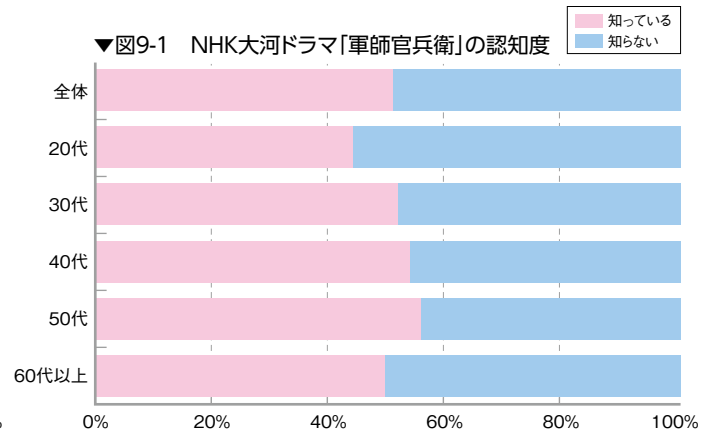


平成 26 年の NHK 大河ドラマで「軍師官兵衛」が放映されることを知っているか尋ねたところ、およそ半数の人が「知っている」と回答しています(図9・1)。また、黒田官兵衛自体を知っているか尋ねたところ、「以前から知っていた」(38・6%)、「大河ドラマに決定してから知った」(18・8%)を合わせると、6割弱の人に認知されているという結果となりました(図9・2)。

▼図9-2 黒田官兵衛の認知度



▼図9-1 NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の認知度

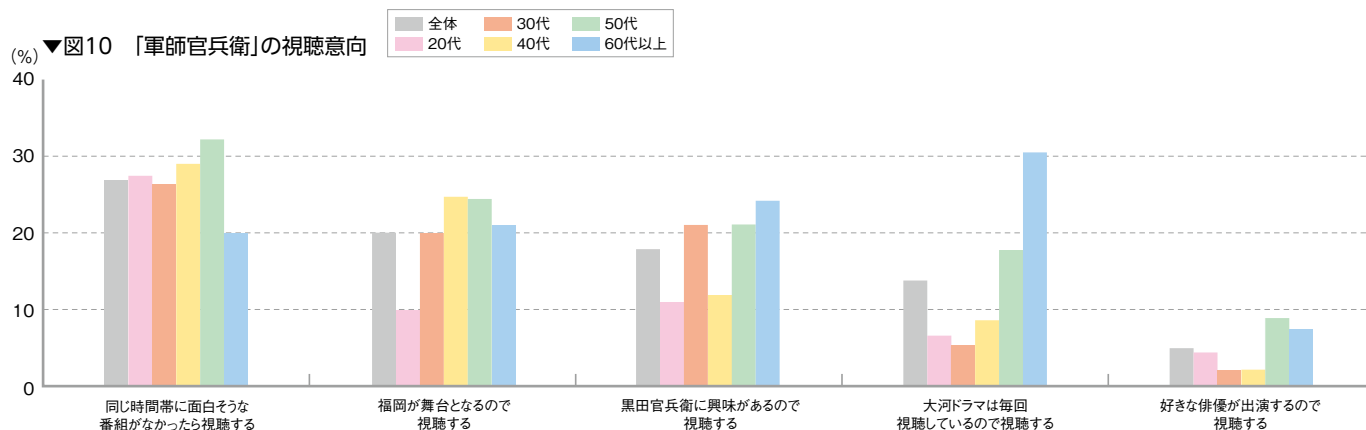


軍師官兵衛の視聴意向

問10

NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」を視聴しますか
(複数回答)

NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」を視聴するか尋ねたところ、「同じ時間帯に面白そうな番組がなかったら視聴する」(26・9%) が最も多くなりました。積極的な視聴意向としては「福岡が舞台となるので視聴する」(20・0%) が多く、地元が舞台となることへの関心の高さがうかがえます。また、年代が上がるにつれて視聴する傾向が高く、特に 60 代以上では「大河ドラマは毎回視聴しているので視聴する」(30・5%) が最も多くなりました(図10)。

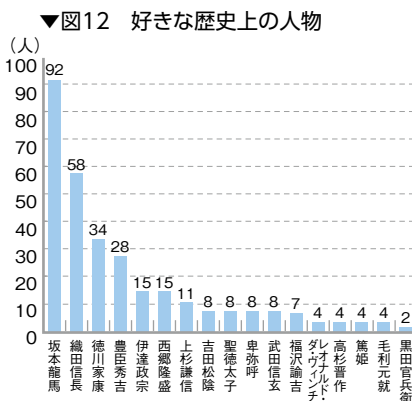
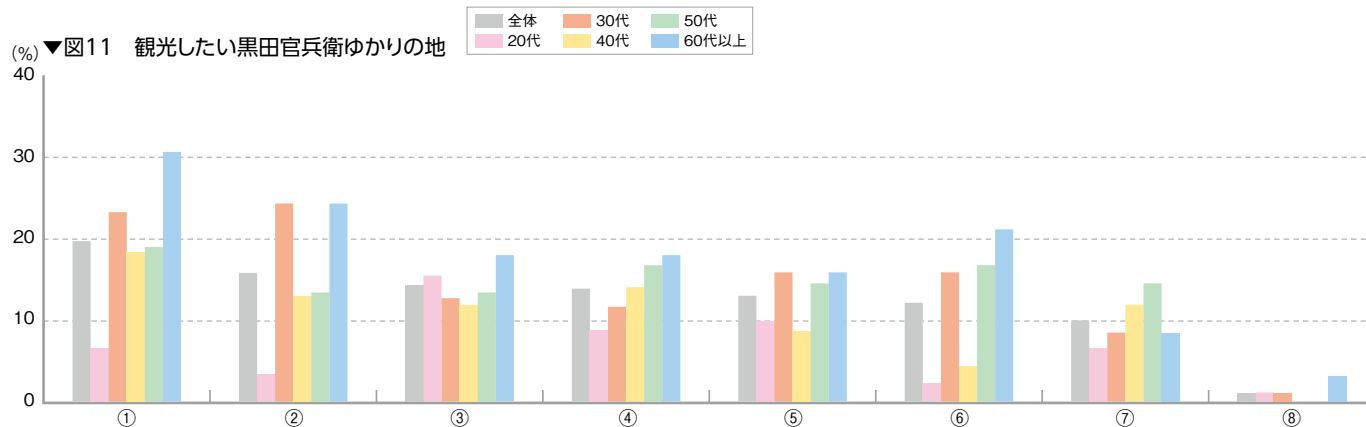


- ①中津城(官兵衛が築城した城 大分県中津市)
- ②馬ヶ岳城跡(九州最初の居城 福岡県行橋市)
- ③如水の井戸(福岡城築城中の太宰府天満宮近辺での隠棲時、茶の湯で使用していた井戸 福岡県太宰府市)
- ④福岡城跡(息子・長政が築城した城 福岡市中央区)
- ⑤崇福寺(官兵衛・長政の墓が残る寺 福岡市博多区)
- ⑥法然寺(宇都宮氏攻めのため陣を張った寺 福岡県築上町)
- ⑦名島城跡(関ヶ原の戦い後入城した城 福岡市東区)
- ⑧その他

観光したい黒田官兵衛ゆかりの地を尋ねたところ、「中津城」(19・6%)が最も多く、次いで「馬ヶ岳城跡」(15・7%)となりました。黒田官兵衛が九州に移った当初の居城の人氣が高くなっています。また、年代別に見ると、高い年代の方の関心の高さがうかがえます。

問11 観光したい黒田官兵衛ゆかりの地はありますか(複数回答)

観光したい黒田官兵衛ゆかりの地



(森山裕司)

黒田官兵衛も大河ドラマの主人公となることで、今後の人氣の高まりが期待されます。

好きな歴史上の人物を尋ねたところ、「黒田官兵衛」は0・4%(2人)となりました。

九州(特に長崎)にゆかりがある「坂本龍馬」は各年代で人氣が高く、19・8%(92人)で第1位となっています。その他上位には、「織田信長」や「西郷隆盛」等、過去に大河ドラマの主役になった人物が並んでいます。

問12 好きな歴史上の人物を1人あげてください

好きな歴史上の人物